

入試結果

◆機械科

	募集 定員	選抜Ⅰ			選抜Ⅱ		
		定員	受験者数	倍率	定員	受験者数	倍率
2018年度	80名	40名	50名	1.25倍	40名	33名	0.83倍
2019年度	80名	40名	66名	1.65倍	40名	68名	1.70倍
2020年度	80名	40名	56名	1.40倍	40名	33名	0.83倍

◆電気・情報技術科

	募集 定員	選抜Ⅰ			選抜Ⅱ		
		定員	受験者数	倍率	定員	受験者数	倍率
2018年度	80名	40名	63名	1.58倍	40名	55名	1.38倍
2019年度	80名	40名	84名	2.10倍	40名	63名	1.58倍
2020年度	80名	40名	58名	1.45倍	40名	46名	1.15倍

◆建築・インテリア科

	募集 定員	選抜Ⅰ			選抜Ⅱ		
		定員	受験者数	倍率	定員	受験者数	倍率
2018年度	80名	40名	50名	1.25倍	40名	47名	1.18倍
2019年度	80名	40名	64名	1.60倍	40名	42名	1.05倍
2020年度	80名	40名	79名	1.98倍	40名	62名	1.55倍

◆素材システム科

	募集 定員	選抜Ⅰ			選抜Ⅱ		
		定員	受験者数	倍率	定員	受験者数	倍率
2018年度	40名	20名	19名	0.95倍	22名	19名	0.86倍
2019年度	40名	20名	25名	1.25倍	20名	31名	1.55倍
2020年度	40名	20名	32名	1.60倍	20名	26名	1.30倍

2021年度募集要項

◆機械科、電気・情報技術科、建築・インテリア科

◆選抜Ⅰ

<募集定員> 各40名 計120名(50%)

<選抜方法> 調査書・面接+作文

>>2020年度入試実施状況<<

<作文> 600字以内50分

「宮工力」(一、冷静を重んじること、二、時間を守ること、三、授業に集中すること、四、技術力を高めること、五、体を鍛えること、六、思いやりや耐性を身に着けること)をふまえて、高校で何を学び、どのような高校生活を送り、将来社会にどのように貢献したいと考えているか、記述する。

<面接> 15分・集団面接(先生4人:生徒4人)

志望理由、「礼節」をふまえた上で集団行動をするときにおいて大切だと思うこと、勉強とクラブ活動をどのようにしたいか、志望学科で何を学びたいか

◆選抜Ⅱ

<募集定員> 各40名 計120名(50%)

<傾斜配点> —

<学力:調査書> —

<全員面接> あり

<実技検査> —

◆素材システム科

◆選抜Ⅰ

<募集定員> 20名(50%)

<選抜方法> 面接+小論文

>>2020年度入試実施状況<<

<作文> 600字以内50分

「宮工力」(一、冷静を重んじること、二、時間を守ること、三、授業に集中すること、四、技術力を高めること、五、体を鍛えること、六、思いやりや耐性を身に着けること)をふまえて、高校で何を学び、どのような高校生活を送り、将来社会にどのように貢献したいと考えているか、記述する。

15分・集団面接(先生4人:生徒4人)

志望理由、「礼節」をふまえた上で集団行動をするときにおいて大切だと思うこと、勉強とクラブ活動をどのようにしたいか、志望学科で何を学びたいか

◆選抜Ⅱ

<募集定員> 20名(50%)

<傾斜配点> —

<学力:調査書> —

<全員面接> あり

<実技検査> —

学校情報

●授業・カリキュラムについて

- 1年生はどの学科も共通に、工業科目を1 / 3、普通教養科目を2 / 3履修する。
- 各学科とも1年次から専門の学習をすすめる。(例:機械科の場合…製図、機械工作など)大学進学を目指す生徒は、進学に向けての授業カリキュラムを履修する。
- 全校生徒を対象に毎朝10分間(8:40~8:50)「朝読」を実施している。

●生徒指導について

- 生徒指導は厳しく行っている。茶髪・ピアス・携帯電話等は禁止。
- 「安心して学べる学校環境を提供すること、また、「社会に信用される生徒を育てていく」ことを目指し学校運営にあたっている。そのため生徒指導は県下一厳しく行っていると自負している。
- 生徒会主導で、地域のボランティア活動に参加。清掃活動には40%の生徒が自主的に参加している。また、宮島トライアスロンにも25名ほどの生徒がボランティアとして参加している。

●補習について

- 学力補習、学力補充、資格検定取得に向けた資格検定補習を放課後に実施。資格検定のために、SHR前に問題演習を実施。

●資格について

- 各種資格の取得が可能で、電気工事士の合格率は県内でもトップクラス。インテリア科では色彩検定・インテリアコーディネーターが全員受検となる。検定は約140種類。2~3種類の資格を取得した生徒は卒業時に表彰している。

●指定校推薦について

- 県内外を含め約50校くらい。宮工の中で成績を上げ、指定校推薦(広島国際学院大・近畿大・広島工業大など)を取ることを目標としている生徒も多い。今後は、国公立の工業高校枠での推薦実績を上げていくことも目標としている。

●広島工業大学への指定校推薦基準

- 30名の推薦枠がある。
- 広島工業大学との提携で、一般入試や推薦入試とは別の基準を定め、宮島工業高校の校長推薦がある生徒を広島工業大学が受け入れている。

●進路について

- 全体の26%が進学(大学:39人、短大:4人、専門:22人)。
- 全体の74%が就職。就職は100%決まる。

●クラブについて

- ボート部(男)・陸上部インターハイ出場。
- 電気クラブ全国大会出場。

●インターンシップについて

- 前期(夏休み)、後期(2学期)にインターンシップを実施し、勤労観、職業観を養っていくことを目指す。

●選抜Ⅰについて

- 可否の基準は内申点+作文+面接を総合的に判断しており、作文は点数化している。内申点のみで判断はしていない。面接では礼儀を第一に重視。
- 全学科の定員15%程度でスポーツ推薦を実施。

●選抜Ⅱの面接について

□選抜Ⅱでは受検者全員に面接を行っている。面接評価項目は、志望理由、工業科への関心及び高校生活への意欲、理解力及び表現力、面接態度となっており、内申点(130点満点)と学力検査点(125点満点)に面接点を60点を加えて合否を決定している。面接の形式は選抜Ⅰと同様に集団面接で行われた。

●その他

□女子の生徒は全体の約20%(県内工業高校で最多)。インテリア科などでは、美術系の内容を学習していくため、特に多い。

●オープンスクールについて

□8月に実施しており、物作りの体験などを行うことができる。
□随時受付をしている(個別でも対応するが、中学校を通して申込みをして欲しい)。

クラブ活動

- 体 育 系 陸上/野球/サッカー/ラグビー/ボート/テニス/バレー/バスケット/バドミントン/剣道/柔道/卓球/弓道/水泳/自転車/登山/空手/ハンドボール
- 文 化 系 新聞/放送/機械/自動車/電気/素材システム/建築/インテリア/情報技術/美術/写真/囲碁将棋/手芸/ギター/吹奏楽部/青少年赤十字

進路実績

大学の合格実績については、現役生・過年度生の合計人数。()内は、過年度生の内数。

	広島大	国公立合計	広島修道大	広島工業大	私大合計	短大	専門学校	就職	就職率
2018年度	0名(0)	0名(0)	3名(0)	18名(0)	33名(0)	5名	28名	191名	100%
2019年度	0名(0)	0名(0)	0名(0)	18名(0)	39名(0)	4名	22名	178名	100%
2020年度	0名(0)	0名(0)	1名(0)	11名(0)	33名(0)	3名	46名	184名	100%